



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社平和
コード番号 6412 URL <http://www.heiwanet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画グループ (氏名) 高木 幹悦 TEL 03-3839-0701
ゼネラルマネージャー
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	143,512	157.5	31,293	108.0	33,717	57.1	22,016	49.0
24年3月期第3四半期	55,728	△21.2	15,044	5.6	21,464	0.6	14,780	△7.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 23,754百万円 (62.5%) 24年3月期第3四半期 14,620百万円 (△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	257.72	257.25
24年3月期第3四半期	173.24	172.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	415,279	142,994	31.3	1,520.56
24年3月期	406,875	124,826	27.7	1,320.93

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 129,940百万円 24年3月期 112,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,900	75.5	33,800	63.0	35,700	26.2	23,300	13.6	272.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	99,809,060株	24年3月期	99,809,060株
25年3月期3Q	14,353,292株	24年3月期	14,420,393株
25年3月期3Q	85,425,980株	24年3月期3Q	85,318,256株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(その他特記事項)

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績には、前第3四半期連結累計期間においてPGMホールディングス(株)を公開買付けの実施により子会社化したため、同社及び同社の連結子会社11社の業績を反映しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要が引き続き景気を下支えしたものの、長引く円高や海外経済の減速等を背景に依然として厳しい状況で推移いたしました。

遊技機業界におきましては、パチンコホールにおけるパチンコ機の稼働の伸び悩みが続く一方で、パチスロ機はエンドユーザーの人気を背景に安定した稼働を維持しております。そのため、パチンコホールはパチスロ機の設置台数を増加する傾向にあり遊技機の入替え需要は、パチンコ機からパチスロ機へ緩やかにシフトする状況にあります。

ゴルフ業界におきましては、ゴルフ場来場者数は東日本大震災前の水準に順調に回復しつつあるものの、長期化するデフレの影響等により顧客単価の下落傾向が続いております。

このような環境下、遊技機事業におきましては、市場のトレンド分析の強化、映像クオリティの向上や演出面の作り込みに重点を置き、パチンコホールにおいて長期的な稼働が見込めるエンターテインメント性の高い遊技機の開発に取り組んでまいりました。

ゴルフ事業におきましては、顧客ロイヤルティの向上とゴルフ場オペレーションの効率化を目的とした様々な施策を推進いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高143,512百万円（前年同期比157.5%増）、営業利益31,293百万円（前年同期比108.0%増）、経常利益33,717百万円（前年同期比57.1%増）、四半期純利益22,016百万円（前年同期比49.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(遊技機事業)

遊技機事業におきまして、パチンコ機は「ルパン三世 World is mine」、「麻雀物語 麗しのテンパイ乙女」、「アントニオ猪木という名のパチンコ機 やれるのか、本当にお前」等を発売し、販売台数218千台となりました。パチスロ機は「めぞん一刻 夏色の風と」、「南国育ち 1st vacation」、「麻雀物語2 激闘!麻雀グランプリ」等を発売し、販売台数42千台となりました。

以上の結果、売上高81,385百万円（前年同期比47.1%増）、営業利益21,820百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

(ゴルフ事業)

前第3四半期連結累計期間から、PGMホールディングス㈱及び同社の連結子会社11社を連結の範囲に加えたことにより、同社が運営する「ゴルフ事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

ゴルフ事業におきましては、ゴルフ場のWeb予約サイトの全面リニューアルやヤフーポイントを活用したキャンペーンプロモーションの実施により、集客増を図ってまいりました。

また、季節や曜日等の需給バランスと直近の予約状況に応じた最適な販売プランを顧客に提供できるよう、ゴルフ場の基幹システムの入替えにも着手し、各ゴルフ場に順次導入を行っております。

以上の結果、売上高60,056百万円、営業利益12,015百万円となりました。

(その他)

その他の事業として、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行い、売上高2,070百万円、営業利益111百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、有価証券・原材料及び貯蔵品が減少する一方、現金及び預金等が増加し、前連結会計年度末に比べ8,403百万円増加し、415,279百万円となりました。

負債は、1年内償還予定の新株予約権付社債の減少及び負ののれんの償却等により、前連結会計年度末に比べ9,765百万円減少し、272,284百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の組み入れにより利益剰余金が22,016百万円増加する一方、剰余金の配当による減少5,552百万円等により前連結会計年度末より18,168百万円増加し、142,994百万円となりました。その結果、自己資本比率は31.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

当社及び一部の連結子会社は従来、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上していましたが、各社の定時株主総会及び取締役会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給が決議されました。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を取り崩し、打ち切り支給額の未払額637百万円については、固定負債の「その他」（長期未払金）に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,756	71,556
受取手形及び売掛金	17,492	16,387
有価証券	45,736	23,220
商品及び製品	5,596	3,656
原材料及び貯蔵品	7,451	4,379
その他	13,037	13,525
貸倒引当金	△511	△467
流動資産合計	126,560	132,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,494	50,612
土地	183,292	184,386
その他(純額)	11,368	12,010
有形固定資産合計	245,155	247,009
無形固定資産		
	3,854	4,081
投資その他の資産		
投資有価証券	21,956	23,606
その他	9,856	8,920
貸倒引当金	△507	△597
投資その他の資産合計	31,305	31,928
固定資産合計	280,315	283,020
資産合計	406,875	415,279
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,033	21,497
1年内返済予定の長期借入金	21,504	23,657
1年内償還予定の社債	—	7,984
1年内償還予定の新株予約権付社債	9,912	—
未払法人税等	4,045	3,114
引当金	2,364	853
その他	15,202	16,751
流動負債合計	72,062	73,859
固定負債		
社債	7,984	—
長期借入金	134,818	133,750
退職給付引当金	5,016	4,972
その他の引当金	1,410	—
負ののれん	4,301	—
その他	56,456	59,701
固定負債合計	209,987	198,425
負債合計	282,049	272,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,074	53,082
利益剰余金	57,807	74,271
自己株式	△15,802	△15,728
株主資本合計	111,834	128,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	958	1,548
繰延ヘッジ損益	△1	11
その他の包括利益累計額合計	957	1,559
新株予約権	240	123
少数株主持分	11,793	12,930
純資産合計	124,826	142,994
負債純資産合計	406,875	415,279

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	55,728	143,512
売上原価	25,418	90,414
売上総利益	30,310	53,098
販売費及び一般管理費	15,266	21,804
営業利益	15,044	31,293
営業外収益		
受取利息	980	269
受取配当金	70	134
負ののれん償却額	6,451	4,301
その他	236	657
営業外収益合計	7,739	5,362
営業外費用		
支払利息	83	1,804
減価償却費	65	60
投資事業組合運用損	—	99
支払手数料	1,156	717
その他	13	256
営業外費用合計	1,318	2,938
経常利益	21,464	33,717
特別利益		
固定資産売却益	0	145
受取補償金	—	197
新株予約権戻入益	0	108
その他	—	16
特別利益合計	1	468
特別損失		
固定資産売却損	—	73
固定資産除却損	7	392
減損損失	—	738
投資有価証券評価損	17	0
特別損失合計	24	1,204
税金等調整前四半期純利益	21,441	32,980
法人税等	6,660	9,832
少数株主損益調整前四半期純利益	14,780	23,148
少数株主利益	—	1,132
四半期純利益	14,780	22,016
少数株主利益	—	1,132
少数株主損益調整前四半期純利益	14,780	23,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	589
繰延ヘッジ損益	—	15
その他の包括利益合計	△160	605
四半期包括利益	14,620	23,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,620	22,618
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,135

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	55,330	—	55,330	398	55,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	55,330	—	55,330	398	55,728
セグメント利益	16,925	—	16,925	183	17,109

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,925
「その他」の区分の利益	183
全社費用（注）	△2,064
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	15,044

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,385	60,056	141,442	2,070	143,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	85	85	28	114
計	81,385	60,141	141,527	2,099	143,626
セグメント利益	21,820	12,015	33,835	111	33,947

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	33,835
「その他」の区分の利益	111
セグメント間取引消去	△16
全社費用(注)	△2,637
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	31,293

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなるため、ゴルフ場資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において738百万円であります。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。